

石綿に関する既存建築物の確認申請等の取扱いについて

1. 目的

建築物の増築、改築、大規模の修繕又は大規模の模様替え（以下「増築等」という。）を行う際の、建築基準法第28条の2及び第86条の7規定に基づき、増築等に係る部分以外の部分（以下「既存部分」という。）の石綿含有建材の使用状況及び措置の内容について確認するため、建築確認申請及び完了検査申請における取り扱いを以下のとおり定める。

2. 建築確認申請書に添付する書類について

増築等の確認申請書を提出する際、既存部分（平成18年9月30日以前に工事着手したものに限る。）の吹付け石綿及び石綿重量含有比率0.1%超の吹付けロックウール（以下「吹付け石綿等」という。）の有無を事前に把握し、建築基準法施行規則第1条の3第1項表2（61）に規定する「既存不適格調書」として「既存建築物の石綿含有建築材料使用調査表」（別紙1）を添付すること。ただし、当該調査表と同様に吹付け石綿等の有無を示す書面を添付する場合はこの限りでない。

3. 確認申請書への記載事項について

既存部分の吹付け石綿等の使用状況及び措置の内容に応じ、確認申請書（規則別記第2号様式）第4面【19. 備考】欄に以下のとおり記載すること。

- (1) 既存部分に吹付け石綿等を使用していない場合、又は使用していたが撤去、封じ込め又は囲込み（以下「撤去等の措置」という。）済みである場合
- ・ 既存部分には吹付け石綿及び吹付けロックウール（石綿重量含有率0.1%超）は使用されていない。
 - ・ 既存部分にあった吹付け石綿及び吹付けロックウール（石綿重量含有率0.1%超）は既に撤去等の措置済み。
（具体的な撤去等の措置の内容： _____）
- (2) 既存部分に吹付け石綿等を使用しているが、増築等の工事に併せて撤去等の措置を講じる場合
- ・ 既存部分にあった吹付け石綿及び吹付けロックウール（石綿重量含有率0.1%超）について、（撤去・封じ込め・囲込み）の措置を講じる。
- (3) 既存部分に吹付け石綿等を使用しているが、人が活動することが想定される空間に露出していないことから、吹付け石綿等を残置する場合
- ・ 既存部分のうち、人が活動することが想定されない空間には、吹付け石綿及び吹付けロックウール（石綿重量含有率0.1%超）が残置されている。
例：2F事務室天井裏、各階鉄骨柱、梁

4. 完了検査申請書への記載事項について

上記3(2)の取扱いとなった建築物については、完了検査申請書(規則別記第19号様式)に以下のとおり記載すること。

(1) 建築士が工事監理したもの

第四面に「吹付け石綿及び吹付けロックウールを被覆し又は添加された石綿を建築材料に固着する措置」について記載し、当該欄に工事監理の状況を記載すること。

(2) 建築士以外が工事監理したもの

第三面【11. 備考】欄に以下のとおり記載すること。

- ・確認申請書のとおり、既存部分にある、吹付け石綿及び吹付けロックウール(石綿重量含有率0.1%超)について、(撤去・封じ込め・囲込み)の措置済。

5. 本取り扱いの適用

本取り扱いは、平成18年10月1日以降に確認済証を交付した若しくは交付する建築物及び工作物について適用する。

※ アスベストの含有の有無については、国土交通省ホームページの石綿(アスベスト)含有建材データベースで検索が可能。

既存建築物の石綿含有建築材料使用調査表

1. 調査建築物の概要

確認済証番号	年 月 日 第 号 ※確認番号が不明の場合(建設年度: 年頃, 不明の理由等:)		
検査済証番号	<input type="checkbox"/> 有り (年 月 日 第 号) <input type="checkbox"/> 無し		
建物主要用途		構造種別	<input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> W造 <input type="checkbox"/> その他
建築面積	m ²	階数	地上 階 / 地下 階
延べ面積	m ²	耐火・準耐火	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物 <input type="checkbox"/> その他

2. 調査した日

年 月 日 ~ 年 月 日

3. 調査した者

()級建築士	()登録	第 号
()級建築士事務所	()登録	第 号
事務所名:		
氏名:	Ⓜ (連絡先:)

4. 調査の方法

<input type="checkbox"/> 設計図書等による確認	<input type="checkbox"/> 建材の分析結果	<input type="checkbox"/> その他の方法()
-------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------

5. 調査の結果

吹付け石綿・吹付けロックウールの有無	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し
--------------------	-----------------------------	-----------------------------

<記入上の注意事項>

- ① 当該調査表は、増築等をする棟について記入してください。
- ② 「5. 調査の結果」の欄については、石綿等をあらかじめ添加した建築材料で石綿等を飛散させるおそれがないものとして国土交通大臣が定めた建築材料以外の建築材料(吹付け石綿・吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1%を超えるもの)の使用の有無について記入してください。
- ③ 記入にあたっては、該当する項目の□部分に”レ”印をいれてください。
- ④ 当該調査表には、必要により、調査範囲のわかる図面(平面図等)を添付してください。